

# - 2007年4月1日から2017年5月31日まで岡山大学病院において肺腫瘍に対してCT透視ガイド下VATSマーカ-留置術を受けられた方へ -

「CT透視ガイド下VATSマーカ-の留置手技の検討」へご協力をお願い

研究機関名 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科  
岡山大学病院

研究機関の長 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科  
研究科長 那須 保友  
岡山大学病院  
病院長 金澤 右

研究責任者 岡山大学病院 放射線部 講師 生口 俊浩

## 1. 研究の概要 (研究の背景、目的及び意義)

肺腫瘍に対するビデオ胸腔鏡下手術 (VATS) の前に対象によっては場所の同定を容易にするためVATSマーカ-を留置しています。今回当院で行われたCT透視ガイド下VATSマーカ-留置術の結果を評価し、その成功の有無、うまく留置できない場合の関連因子を調べたいと思っています。

## 2. 研究の方法

### 1) 研究対象者

2007年4月1日から2017年5月31日まで岡山大学病院において肺腫瘍に対してCT透視ガイド下VATSマーカ-留置術を受けられた方約400人 (重複含める) を対象とします。

### 2) 研究期間

2017年6月16日 ~ 2019年3月31日

### 3) 研究方法

当院にて肺腫瘍に対してCT透視ガイド下VATSマーカ-留置術を受けられた患者さんにおいて、これらの手技の内容や成績をカルテ情報から調査します。

## 4) 使用する情報

研究に使用する情報として、以下の情報を抽出し使用させていただきます。情報の管理はコード番号等で行い、氏名、生年月日などあなたを直ちに特定できる情報は削除し、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。ただし、必要な場合に個人を識別できるように、原則として患者さんの氏名などの個人情報とコード番号の対応表を残しています。

1. 患者因子 (性、年齢、喫煙指数、呼吸機能、肺気腫の有無、術時癒着の有無)
2. 腫瘍因子 (腫瘍径、左右肺どちらか、局在[上中葉か下葉か]、腫瘍と胸膜の距離、性状[すりガラス病変か充実性病変か]、診断[良性か悪性か])
3. 手技因子 (患者体位、穿刺角度、穿刺経路、術者[研修医かスタッフか])

## 5) 情報の保存及び廃棄の方法、二次利用

本研究に使用した情報は研究終了後5年間、岡山大学病院放射線科医局内の保管庫内で厳重に保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。保存期間終了後は電子情報はコンピューターから削除しその他の情報はシュレッダーで裁断し廃棄します。

## 6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたまたは代諾者のご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画および研究の方法に関する資料を入手または閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、この研究におけるあなたの個人情報等の開示はあなたまたは代諾者が希望される場合に行います。

この研究の結果は氏名、生年月日などあなたを直ちに特定できる情報を分からない形にして学会、論文で発表しますのでご了承下さい。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2017年9月30日までに下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

### <問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 放射線部 講師  
電話：086-235-7313（平日：9時00分～17時00分）

生口 俊浩